

港湾施設の出入管理の高度化 - ゲート効率化の実施に向けた検討調査 -

【目的】

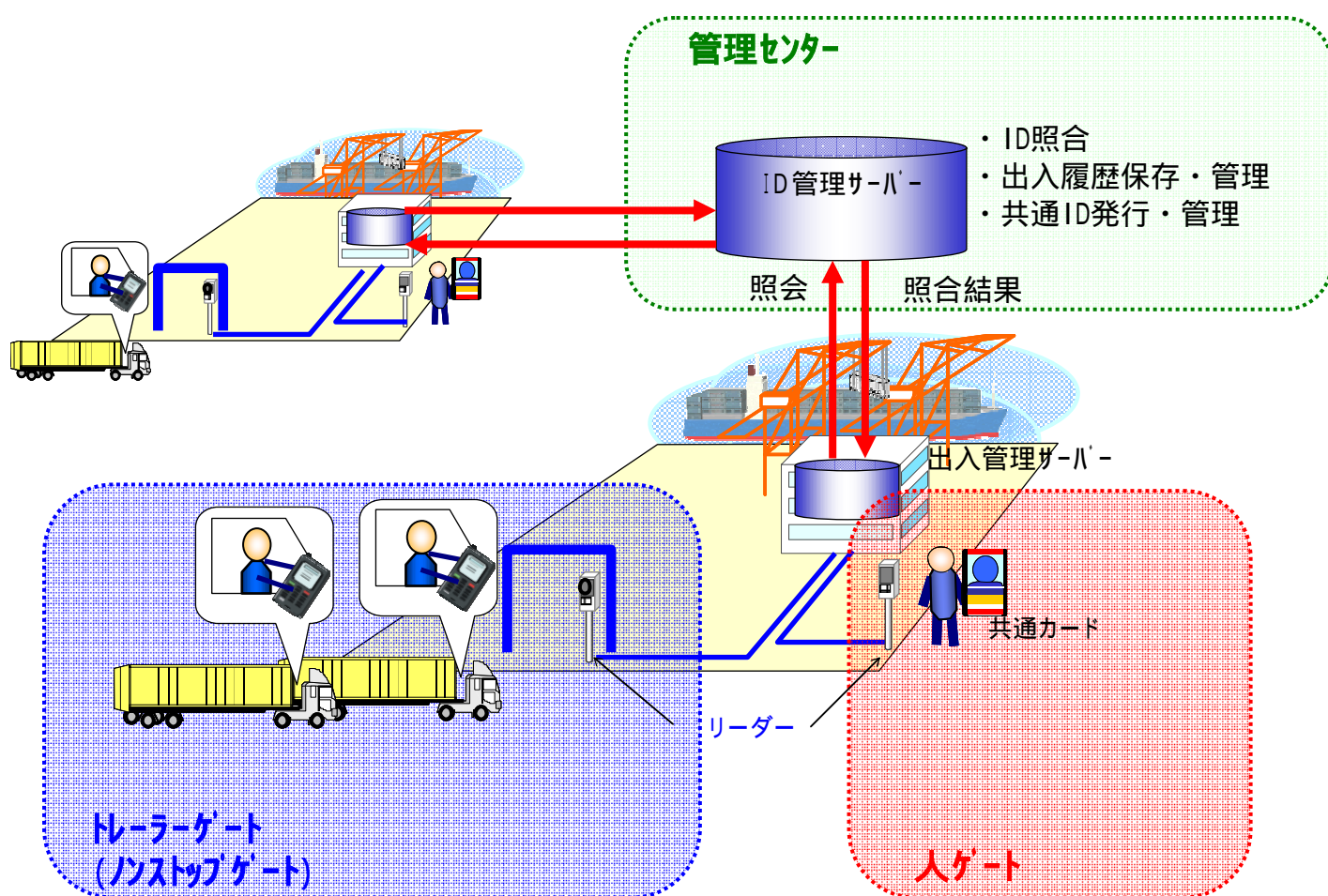
港湾における保安性の確保と物流の効率化の両立。

【概要】

次世代高規格コンテナターミナルにおけるコンテナ貨物の搬入、搬出の予約確認、出入者・車両の出入資格の確認等に要している時間を短縮し、人と貨物のゲート通過の迅速性の向上及び保安性の確保のためのコンテナターミナルゲートの高度化に関する実証実験を行う。

- ・コンテナ搬出入手続きの自動化
- ・出入者・車両確認の自動化
- ・出入者・車両確認システムの 全国共通化

- ・迅速な入構
- ・出入者・車両確認の徹底

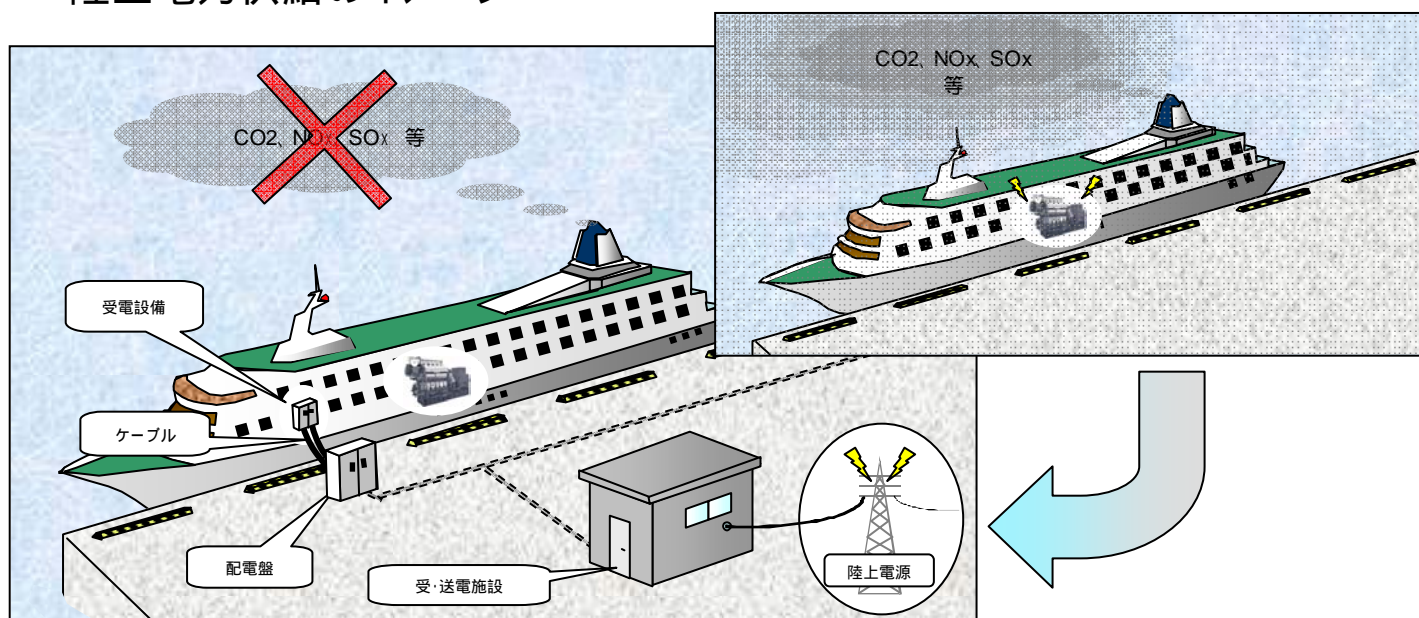


## 港湾地域における排出ガス対策の推進

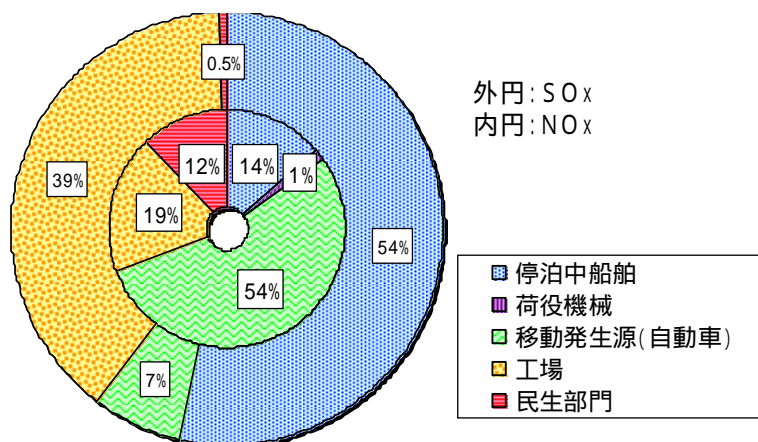
### 【概要】

CO<sub>2</sub>等の温室効果ガスの排出による地球温暖化がクローズアップされ、京都議定書の発効、京都議定書目標達成計画の策定等、その対策が急務となっており、また、NO<sub>x</sub>、SO<sub>x</sub>などは港湾背後地域の大気汚染の原因として注目されていることから、港湾における排出ガス対策のひとつとして接岸中の船舶への電力供給のための陸上施設の整備について、平成18、19年の2カ年で検討を行う。

### 陸上電力供給のイメージ



### 東京港内及び沿岸6区における 大気汚染物質の排出量推計結果割合



沿岸6区沿岸6区(江戸川区、江東区、中央区、港区、品川区、大田区)  
 出展: 「船舶等による大気汚染対策検討委員会報告書」  
 (東京都環境局、H17.3)を基に作成

接岸中の電力確保のため  
船内発電機を稼働  
(港湾地域の大気汚染等)

接岸中の電力確保対策  
環境負荷の少ない陸上電力を供給

接岸中の船内発電機の停止  
(CO<sub>2</sub>・SO<sub>x</sub>・NO<sub>x</sub>等の削減)

地球環境・国内環境保全に貢献